

(様式3)

## 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成22年2月23日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0873101067		
法人名	株式会社 ニューライフ三浦		
事業所名	グループホーム ニューライフ三浦	ユニット名	おおぞら
所在地	〒311-3116 茨城県東茨城郡茨城町長岡4347-4		
自己評価作成日	平成21年8月27日	評価結果 市町村受理日	平成22年2月12日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報	茨城県福祉サービス振興会のホームページ「介護サービス情報検索」から情報が得られます。
------	--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成21年10月21日	評価確定日	平成22年2月1日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>地域密着型事業所としての役割を日々施設全体で理念、方針は共有していて、行政との連携も地域交流も積極的に実施している。</p> <p>設立6年目というところに於いてはマンネリ化せず、新しい発想を大切にしながらも、これまでの地域との信頼関係を一段と深くし、初心にかえり職員一丸となって継続的な思いでケアにあたっている。</p>
--

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>運営母体の病院が近隣にあり、医師が頻繁に来院し利用者の健康管理や緊急時の対応が確立している。</p> <p>事業所はデイサービスと併設し大浴場や檜風呂など各種設備の利用が可能となっている。</p> <p>利用者の残存機能の維持を図るため歩行訓練などを取り入れ、自由な生活ができるよう支援している。</p>
---

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域との交流を管理者、職員は共有し近隣の小学校の立哨ボランティアや、小・中学校の職場体験の受け入れ等、区長、PTA会長、学校長との面談等とおし実践している。	「その人らしい穏やかな暮らしのために、自分でやれる喜びと誇りをもてる居場所を提供し、ゆったりと自由にくつろぎ、安らげる暮らしや環境を提供します」を理念に掲げ、パンフレットに明記している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会への参加、小学校PTAへの協力、区長、民生委員との話し合いも大切に小・中学校からの職場体験の受入、小学校教師の10年研修の場としての受け入れ等、場所の提供、行事への参加もしている。	利用者と職員で地域の運動会や祭りなどに参加し地域の人々と交流している。 小学生や中学生の職場体験や教師の研修などを受け入れるほか、町主催の感染症対策セミナーなどの会場としてホームを提供するなど地域と交流している。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	施設長は、昨年、認知症100万人キャラバンメイトとして茨城県にて230名を講師として勤め、今年も「認知症を知り、地域で支えよう」のタイトルにて200名、計3回の講演依頼にて現在60名受講終了。昨年、今年で計435名の認知症サポーターが生まれる			
4	3	○運営推進会議を活かした取組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議には、家族も参加し、苦情、施設での問題点など、話し合っていて、行政、区長、民生委員、小学校長、協力老人福祉施設長からもサービス向上の為の意見を出していただいている。	運営推進会議は町職員や民生委員、学校関係者、区長、施設長で2ヶ月に1回開催し、会議録を作成している。 会議では感染症対策やスプリンクラーの設置、ホームの情報発信などについて話し合い、出た意見等をサービスの質の向上に活かしている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	毎月5日に利用者状況の提出、現状の報告以外にも会議開催毎に細かい実践状況の報告をし、入退所時にも連絡を密にしている。また相談があればすぐに連絡している。	職員は町担当部署を毎月訪問し、情報交換をしたり相談する機会を設けている。 管理者は町の実地指導で事業所の実情を伝えながら協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は法律で禁止されていることを共有認識している。また、委員会があつて、研修したりカンファレンスし理解を深めている。	職員は身体拘束の弊害を理解し、居室や玄関は施錠していない。 管理者は身体拘束防止委員会を設置するとともに、研修やカンファレンスを行い内容を記録するほか、全職員が理解を深め身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	施設内で虐待防止委員会があつて年に6回話し合いの場を設け居ている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	施設内での研修、外部での研修に参加し啓発に努めている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約に関しては書面を用いて説明。わからない点はその都度答えて理解を得ている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	事業所に意見箱を設置中。また、面会時等にもこちらから声かけを行っている。利用者への声かけも行っていて現状の把握に努めている。	意見箱を設置したり面会時に家族等に声かけをしているが、意見や要望を把握するまでには至っていない。	家族等にアンケートを実施し意見を汲みあげ、運営に反映させることを期待する。 重要事項説明書に第三者機関の苦情相談受付窓口を明記するとともに家族等に説明することを期待する。
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	常にミーティングを行い、職員の意見、提案を聞き、施設運営に反映させている。	管理者は頻繁にミーティングを行い職員の意見や提案を聞く機会を設け、夜勤体制などシフトの要望を運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は常にねぎらいの言葉かけを心がけていて、各自が向上心を持って働けるように環境条件の整備に努めている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部の研修にも積極的に参加できるように勤務状況を整えている。また資格取得のための助言もしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	近隣のグループホームとお互いに職場体験をしている。介護支援専門員は勉強会に入っている。茨城県地域密着型施設協議会にて、理事、常に県内の施設とサービスの質の向上について学んでいる。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人のゆっくり話し合うことを大切にこれまでの生活、これからの希望を聞き、本人の求めていること、また、不安に思っていることを受け止めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の悩み、又、施設に求めていることをゆっくりと聞くようにし、親身になって今後どのようにケアしていくかを話し合っている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	家族の求めていることをゆっくりと聞く中で事業所としては「今」どのような支援が必要なのかを判断し適切に助言している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は本人を家族と思い、一緒に笑い、一緒に淋しさを分け合い信頼されるように努めている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	職員は、家族、利用者との絆を常に念頭に置き業務に従事している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	施設入居後も馴染みの人に気軽に会うことができるよう行きたい場所へも外出できるように支援している。	利用者は利用前から愛用しているヤクルトや新聞、化粧品を馴染みの販売員から購入し、関係を継続している。 職員は利用者が近隣の理容店との関係を継続できるよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	共同で生活している利点を徐々に理解してもらい、利用者同士穏やかに過ごせるよう支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	葉書、手紙、転居先への面会等にて、安否を気遣っている。又、連絡があれば親身になって相談、支援をしている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の生活の中で、声かけ、話し合いを心がけている。意思疎通が困難な方でも表情しぐさを観察し本人の望む暮らしを理解し、把握できるよう努めている。	職員は利用者の基本情報や生活歴を把握するとともに全体会議で意見交換し、利用者一人ひとりに合ったケアができるよう支援している。 意志疎通が困難な利用者は、表情や仕草を観察して意向の把握に努めている。 面会時に家族等から話を聞くなどで利用者本位のケアに努めている。			
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居までのプロセスの中で家族、支援者からも様々に情報収集しケアに活かせるように努めている。	/		/	
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個別ケアを重点にして、健康状態の把握、できること、残されている能力を引き出すように努めている。 日々の生活活動への自立支援に働きかけるように心がけている。				
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人、家族の思いや意見を聞き、反映をさせている。股、要望をできる限り近いものとし、職員間でのモニタリングやカンファレンスの中で意見、アイデアを出し合い、介護計画を作成している。	介護計画は利用者や家族等の意見を聞き全体会議で作成している。 毎月モニタリングをするとともに3ヶ月毎に介護計画を見直すほか、新たな課題の発生や心身の状態に変化が生じた場合は随時見直している。			

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録には細かくケアの実践、結果、気づいたこと、工夫点を記入していて、この情報を共有、カンファレンス等を通し、その後の介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人の希望、家族の希望、様々なニーズに柔軟な支援、サービスの提供に努めている。例：平行棒での立位・歩行訓練等		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアの受け入れ、小・中学校の体験学習、ポケットファームにて動物との触れ合い、町内の行事参加、大型スーパーへの買い物、涸沼への外出ドライブ等茨城町の資源をフル活用している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族の希望の病院受診。入居後も継続している。また、急変時にもその後の他院への入院等の報告をかかりつけ医に文書、電話、訪問等にて実施している	職員は利用者や家族等の意向を踏まえ、これまでのかかりつけ医や希望にそった病院を受診できるよう支援している。 近隣に運営母体の病院があり、二日に1度医師が来訪し利用者の状態に合わせて適切な医療が受けられるよう支援している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員は、介護職員の伝達を的確に判断し、かかりつけ医への早期受診、治療が円滑にいくように努めている。また、介護職員も研修等にて研修等にて知識を得、きちんとした伝達ができるように努めている。		



☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>近隣、又、利用者のかかりつけ医、MSWとは、常に連絡を密にして、早期退院に向けての相談、支援をできる限り行っている。また、入院に際して、スムーズな受け入れが可能なように、定期的な連携を取っている。（おもに、電話、訪問）</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時より、重度化、終末期に向けた方針を話し、理解が得られるように努めている。事業所で可能なことも説明し医療機関との連携を大切にしている。</p>	<p>看取りに関する指針を作成し、契約時に利用者や家族等に説明して理解が得られるよう努めている。 終末期は対応指針を軸に利用者や家族等の意向を優先し、医師や看護師と共に支援に取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>職員は、知識、技術を身につけて、緊急時に備えた研修を1年に1度行っている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>利用者の避難場所、方法を全職員が共有、地域との協力体制もできている。</p>	<p>消防署指導のもと年2回夜間を想定した避難訓練を実施している。 地域の人々の参加を得て消火器の使い方や非難経路を確認したり、避難場所への誘導を行うなど災害対策に向けた体制づくりに努めている。</p>	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者個々の声かけ、個人情報等について、細かくスタッフ間でも周知徹底している。	職員はさりげなく声をかけトイレ誘導をするほか、入浴は一人ずつ支援するなど、プライバシーを損ねないように配慮している。 管理者は個人情報取り扱いの勉強会を開催し、全職員に周知を図っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の思いや希望を話しやすいようにスタッフは環境づくりに配慮している。また、自己決定できるような雰囲気を作るように心がけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	スタッフの都合で一日を過ごすことのないように、利用者の生活を大切にして支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	毎月、理美容が来所している。化粧品も毎日されている利用者もいる。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	季節を感じながら静かな環境の中でゆっくり食事をしている。アンケートを実施。また、会話の中からメニューの希望を吸い上げている。	利用者は能力に合わせてお茶入れや米研ぎ、下膳などを担っている。職員は利用者と食卓を囲み、声かけや介助をしながら一緒に食事をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	体重の変化、又はIN OUT はすべて記録		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアの重要性をスタッフ全員で認識し行っている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	自立支援の実施。尿意、便意のある利用者にはトイレ誘導、そこで立位訓練も合わせてできる。	職員は利用者の習慣を把握するとともに、排泄チェック表を活用し声かけや誘導でトイレでの排泄を支援している。 夜間は居室にポータブルトイレを設置したり車椅子を利用し、排泄の自立に向けた支援をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食物繊維を多めに、ヨーグルトを毎日、牛乳を毎日。下剤に頼らないことを原則に腹部マッサージを行う。また、入浴後に快便のことが多い。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴は楽しみの一つであり、希望に合わせて入浴日、時間を合わせている。ゆっくり入れるように工夫している。	利用者の希望にそっていつでも入浴ができるほか、一人ずつ時間を決めずにゆっくり入浴ができるよう支援している。 利用者の希望により併設しているデイサービスの大浴場や檜風呂で入浴することができる。 入浴を拒む利用者は清拭や足浴で支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	歌詞の浮腫が目立つときには、ホットパック、フットケア、足浴等、又、が障子に両下肢の挙上、改善が見られない時には受診。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の副作用についても理解し、誤薬がないように徹底している。また、追加処方等、症状の改善が見られない時も連絡、情報の共有。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	外出ドライブ（買い物含み）、庭の散歩（花壇、畑）、手作業、料理（おやつ作りも）個別に考えアプローチしている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	買い物、散歩、外出ドライブ、天候にもよるが利用者のコンディションが良ければ出かけている。	職員は利用者の体調に配慮しながら希望にそって買い物や散歩を支援している。 天気の良い日はドライブなど外出支援をするほか、家族等の協力を得て様々な場所へ外出している。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	スタッフは決めつけることなくカンファレンスしながら金銭管理について支援している。（本人の意向を大切にしている）		
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話は使ってもいいとスタッフ全員に話している。仕事をしている家族がほとんどであり、夕方までは待っていただくこともあり、手紙は出してあげている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	窓ガラスも採光が入るように広く設計しており、エレベーターの位置も、あえて、玄関近くにできなかった。壁紙、天井の高さ、すべてにおいて、数回の変更を重ねて建築された。季節感を感じられるよう花、インテリア等、スタッフ、利用者により工夫されている。	リビング兼食堂は床から天井までの窓ガラスにより広く明るく開放感に満ちている。 リビングの一角に畳敷きのコーナーがあり、ぬいぐるみや本が置かれ居心地よく自由に過ごせるよう工夫をしている。 インテリアや観葉植物、季節の花、果実を飾り季節感を取り入れている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	自分のほっとできる居場所は、各自の利用者により異なる。個別ケアで支援の中、居場所が決まるまでは、見守りの中、時間もゆっくり流れるように工夫されている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	写真（思い出）を飾ったり、仏壇も、本人、家族との会話の中から気付きを大切に、今まで通りの生活が継続できるように工夫し、支援している。	居室は畳敷きとフローリングがあり、利用者の希望で選んでいる。 利用者と家族等で話し合いテレビや冷蔵庫、小物、ぬいぐるみ、家族等の写真、仏壇などを持ち込み、これまでと同じような生活ができるよう利用者好みの居室づくりをして居心地よく暮らせるよう工夫をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自立支援を基本ベースに、トイレ誘導時も、周囲の利用者に聞こえないよう声かけをしたり、又、利用者が生活に早く慣れるように工夫している。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	<p>通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)</p>	<p>○ 1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない</p>
65	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの広がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)</p>	<p>○ 1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない</p>
66	<p>職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)</p>	<p>○ 1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない</p>
67	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。</p>	<p>○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない</p>
68	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。</p>	<p>○ 1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない</p>



(様式4)

## 目 標 達 成 計 画

事業所名           ニューライフ三浦          

作成日           平成22年2月15日          

### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	6	アンケートの実施 (2エットご家族へ)	アンケートを実施し意見等汲み上げ、運営に反映させる	6月実施予定	6ヶ月
2					
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。